



只見町ブナセンターだより

<ごあいさつ> 例年より雪の少なかった冬が開け、今年も只見町に春が巡ってきました。2020年より人流を妨げてきた新型コロナウイルスが5月8日より5類感染症に引き下げられることで、従来規模でのイベント開催等も可能となります。これは、コロナ禍で自粛を強いられてきた全国の博物館施設にとって大きな変化となることでしょう。只見町ブナセンターでは新年度も様々な企画を予定しております。地元の皆様はもちろん、コロナ禍で移動を我慢されてこられた遠方の皆様も、ぜひ奮ってご参加下されば幸いです。

==== 開催案内 =====

【企画展】 「雪国のブナを極める」

本企画展は「雪国のブナを極める」と題して、ブナ本来の姿を理解する手がかりを得ることを目的としています。研究者による論文や著書をもとに、地史的なブナ林の広がりの変り変わりから、ブナの生態、さらに、ブナ林に依存する多様な生きものまで、幅広く扱っています。豊富な写真でわかりやすく解説してありますので、雪国のブナを極めて頂ければ幸いです。

■会期:2023年4月15日(土)

~ 2023年7月24日(月)

■会場:ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー



【講座】 「ブナ林を研究するおもしろさ」

企画展「雪国のブナを極める」では、多くの研究者による半世紀にわたるブナ林研究の成果をもとに解説しています。監修をして頂いた中静透先生に、本講座の講師をお願いしました。中静先生はブナ林生態研究の先駆者であり、第一人者でもあります。自然のブナ林がギャップ更新と呼ばれる仕組みで世代交代を行っていることを40年以上前に明らかにされ、その後も多くの若手研究者とともに森林の生態研究を続けてこられました。本講座では、「ブナを研究するおもしろさ」と題して、エピソードを交えてお話し頂きます。

■日時:4月30日(日)9:30~11:30

■会場:只見公民館(旧 只見振興センター) 1階 集会室

【自然観察会】

新緑のブナ林・春の花観察会

毎年恒例、春の自然観察会です。初日はカタクリやキクザキイチゲなどの春植物を観察し、二日目は「癒しの森」のブナ林を歩きます。是非、お誘いあわせの上、ご参加ください。



| | 春の花観察会 | 新緑のブナ林観察会 |
|------|--|-------------------------------|
| 開催日 | 4月29日(土) | 4月30日(日) |
| 時間 | 13:00(集合) - 16:00(解散) | 13:00(集合) - 16:00(解散) |
| 観察地 | 深沢 | 癒しの森 |
| 集合場所 | 季の郷 湯ら里 駐車場 (只見町長浜上平 50 深沢温泉) | 癒しの森 駐車場 (県道 352 号線沿い 松坂峠) |
| 定員 | 各観察会 15 名 | |
| 申込み | 電話 0241-72-8355 まで 締切日は各観察会の前日 | |
| 参加費 | 高校生以上 400 円 / 小中学生 300 円 / 町内在住の小中学生・高校生 100 円 | |
| 持ち物 | 長靴、雨具、飲み物、軽食、マスク | |

※悪天候が予想される場合等、中止あるいは時間短縮の可能性があります。その際、参加をお申し込みいただいた方には事前にご連絡いたします。

春から初夏の野鳥観察会

好評につき今年も開催します。繁殖期を迎えた只見町の野鳥を観察できる良い機会です。昨年とは違う観察地で、どのような種が見られるでしょうか。GW 中は 5 月 5・6 日の 2 日間連続で開催します。



| 開催日 | 4/23 (日) | 5/5 (金・祝) | 5/6 (土) | 5/28 (日) | 6/25 (日) |
|------|--|--------------|------------------------------------|--------------------------|-----------------------------|
| 時間 | 9:00 集合 / 12:00 解散 | | | | |
| 集合場所 | 叶津集会所 (叶津下稲面 531-1) | 石伏公園 (石伏) | ただみ・ブナと川 のミュージアム (只見町下 2590) | 塩ノ岐公民館 (塩ノ岐柳原 138) | 森林の分校 ふざわ(布沢大 久保 544) |
| 観察地 | 叶津川 | 只見湖 | 新田沢 | 塩ノ岐川 | 毘沙沢 |
| 申込み | 電話 0241-72-8355 までご連絡ください 定員は各回 15 名★申込み締め切りは各回前日 | | | | |
| 参加費 | 高校生以上 400 円 / 小中学生 300 円 / 町内在住の小中学生・高校生 100 円 | | | | |
| 持ち物 | 双眼鏡、防寒具または雨具、マスク、飲み物 | | | | |

【調査・研究】 ツキノワグマの保護・保全調査

健全な生態系の存在の象徴であるツキノワグマ(以下、クマ)は只見町の全域に生息していますが、その生態についての科学的な知見は限られているのが現状です。一方、全国の例に比べれば少ないですが、クマが人家周辺に出没し、農林業被害を起こす事例も生じています。さらに、近年は、イノシシやニホンジカが進出し農作物被害が出る中で、その対策として設置された罠にクマが錯誤捕獲され、殺処分される問題も生じています。そこで、クマと住民生活の共存を図るため、2022 年秋にカメラトラップ調査法を用いて只見町東部地域でのクマの生態調査を行いました。その結果、クマは主に集落から離れた奥山地域で確認されました。また、クマによる林業被害であるクマ剥ぎはスギ植栽木のみで確認され、いずれも奥山地域での確認でした。



▲カメラトラップで撮影されたクマ

今年度は調査期間が短かったため得られた情報が限られましたが、次年度はトラップ設置期間を早めることでクマの生態についての情報をさらに蓄積していきたいと考えます。また、クマの行動は、季節や年によって変化するため、複数年継続して調査する必要があります。

令和 4 年度「自然首都・只見」学術調査研究成果発表会

1 月 29 日(日)、令和 4 年度「自然首都・只見」学術調査研究成果発表会が只見振興センターで開催されました。コロナ禍ではインターネットなどを介した発表会が続いていましたが、今年度は 3 年ぶりに対面での開催が実現しました。町の助成を受けて調査研究を行った 3 名の研究者がその成果を発表しました。



▲武藤実緒さん

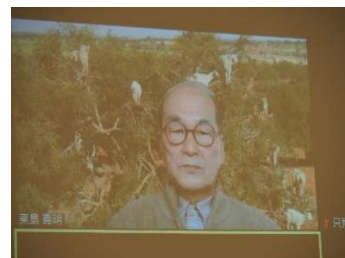
横浜国立大学大学院の武藤実緒さんらは、只見町を含む豪雪地帯で山菜として採集されるゼンマイについて、生息適地、生活史、採集活動の関係を調査されました。ドローンや現地踏査での調査によりゼンマイは北向き急斜面下部域の微細な凹地に生育していること、ゼンマイ個体群と只見町のゼンマイ採集者への詳細な調査、統計的な手法により、ゼンマイが繁殖を開始する年齢は平均 14.7 年、採集対象のサイズに達する年齢は平均 22.4 年で、採集活動によって繁殖個体が採りつくされるリスクは低いことを明らかにしました。

新潟大学の村上拓彦さんらはドローンによる空撮データを用いて里山の森林資源量の把握を試み、調査を行った区域の林分のおおよその概況を把握するとともに、画像データからスギ樹木の頂点を抽出することにより、上層木の本数を把握することが可能であることを示されました。



▲村上拓彦さん

明治大学の栗島義明さんは、古くから日本人の生活と深い関りをもっていたトチノキについて、只見町のトチの実の食化についての聞き取り調査をされました。聞き取りを行った4例で採集開始日の取り決め(山の口)や水漬け(虫殺し)工程は一致しなかった一方、不作時を想定した採集計画や囲炉裏上の火棚での乾燥・貯蔵、アク抜き後の煮崩しと布袋を使った絞りによる粉化などは一致し、只見の特徴であることを示されました。



▲栗島義明さん

町内外から26名が参加され、研究者の発表をじっくりと聞き、活発な質疑応答も行われました。



【自然観察会】 積雪期のブナ林観察会：3月11日

20名にご参加いただきました。当日は天候に恵まれ、前日の雨が嘘のような青空でした。観察地は深沢集落周辺の森林です。集落側のスギ林の奥に進み、斜面に広がるブナ林に向かいました。

林の入口でブナの冬芽を観察しました。紙谷館長より、枝葉だけが伸びてくる葉芽と枝葉に花も包含した混芽の違い、ブナの受粉方法やその特性にあわせたブナ林保全の在り方などについて解説がありました。森林内では、雪で覆われた急斜面を進み、目的のブナの大木に到着しました。館長の淹れたコーヒーで一息つきながら、豪雪の圧力によるスギとブナの根曲りの形成過程の違いや、根曲がり材の特殊性についての解説を聞きました。



雪に覆われた林をかんじきやスノーシューで歩くという、この時期の只見らしい経験ができたと思います。次回の観察会へのご参加もお待ちしております。

【雪上伐採】 春木山：3月19日

春木山とは、晩冬から早春にかけて、雪が締り堅雪になった頃、薪の原料となるブナやナラ類を雪上で伐採し、木橇(そり)で搬出する作業のことです。快晴に恵まれた3月11日、集落のブナ林を育成するために間伐した薪材を伝統的な春木山で運び出す体験活動を行いました。町外、県外からも含め20人にご参加頂きました。なお、太い間伐材は今後、ブナ皿の製作プロジェクトに引継がれます。



===== お 知 ら せ =====

【新人事務補助員のご紹介】

いがらし かずな

五十嵐 和奈 (只見町ブナセンター事務補助員)

はじめまして、4月からお世話になります。朝日地区の上福井生まれです。毎朝、好きな歌を聴きながらの1時間の散歩が日課です。冬の冷え込んだ天気の良い日の「かた雪わたり」が光ってきれいで、気持ちよくて好きです。只見町のこと、勉強していきたいと思っております。ふるさと館田子倉の常勤となる予定です。よろしくお願いいたします。



【販売書籍紹介】

企画展解説シリーズ 18「雪国のブナを極める」

開催中の企画展「雪国のブナを極める」のパネルを丸ごとブックレットとして販売しています。企画展で学んだパネルの内容を再度、確認することができます。多くの写真を楽しみながら、ブナの生態を幅広く理解し、雪国のブナを極めて頂ければ幸いです。■価格:税込 500円

只見町ブナセンター 令和5年度行事一覧(予定)

企画展

| 開催期間 | タイトル | 会場 |
|-----------------------|-----------|-----------------|
| 2023/4/15(土)~7/24(月) | 雪国のブナを極める | ただみ・ブナと川のミュージアム |
| 2023/7/29(土)~11/27(月) | 只見のトンボ | 2階 ギャラリー |

講座

| 開催期間 | タイトル | 会場 |
|--------------|----------------------------|------------------------------|
| 2023/4/30(日) | 「ブナ林を研究するおもしろさ」 講師:中静透氏 | 只見公民館 1階 集会室 (旧 只見振興センター) |

観察会

| 開催日 | タイトル(観察地) | 集合場所 |
|---------------|------------------|-----------------|
| 2023/4/23(日) | 春から初夏の野鳥観察会(叶津) | 叶津集会所 |
| 2023/4/29(土) | 春の花観察会(深沢) | 季の郷湯ら里 |
| 2023/4/30(日) | 新緑のブナ林観察会(癒しの森) | 癒しの森駐車場 |
| 2023/5/5(金・祝) | 春から初夏の野鳥観察会(石伏) | 石伏公園 |
| 2023/5/6(土) | 春から初夏の野鳥観察会(新田沢) | ただみ・ブナと川のミュージアム |
| 2023/5/28(日) | 春から初夏の野鳥観察会(塩ノ岐) | 塩ノ岐公民館 |
| 2023/6/25(日) | 春から初夏の野鳥観察会(毘沙沢) | 森林の分校ふざわ |

<編集後記> 2023 春・只見町内の生き物初認情報

- ホオジロ*初鳴き:3/9,只見地区 *只見町では夏鳥
- フクジュソウ開花:3/11,福井地区
- コシノコバイモ・キクザキイチゲ開花:3/23,蒲生・塩沢地区
- ツバメ初認:3/27,只見地区
- ヤマアカガエル産卵:3/28,檜戸地区
- ルリシジミ初認:3/31,小川地区
- サシバ初認:4/1,只見地区
- ウグイス・ニューナイスズメ初認:4/4,塩沢地区
(只見町ブナセンター職員確認,太田まとめ)



▲2023年春は、少雪と記録的な暖かさで例年より動植物の出現が早まっているようです。写真はコシノコバイモ(3/23撮影)

発行 **只見町ブナセンター** 〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下 2590 番地



只見町ブナセンター



電話 0241(72)8355 ホームページ <http://www.tadami-buna.jp>

FAX 0241(72)8356 メール info-buna@amail.plala.or.jp

Facebook <https://www.facebook.com/tadami.buna>

附属施設「ただみ・ブナと川のミュージアム」・「ふるさと館田子倉」

開館時間: 午前9時~午後5時(最終受付は午後4時まで)

休館日: 火曜日(祝祭日の場合は翌平日)、年末年始(12月29日~1月3日)

入館料: 高校生以上 310円(20人以上は団体割引) 小・中学生 210円

只見町在住の小・中・高校生 無料